
平成31年度
全国学力・学習状況調査

指導の改善策

- 英語編 -

旭川市教育委員会

目次

課題の改善策

2～11ページ

○今年度、初めて行われた中学校 英語の「正答率」「誤答例」「無解答率」などの詳細な分析から、課題を洗い出し、課題を解決するための外国語科における具体的な授業プランを作成しました。

単元構成のポイント

12ページ

○単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、ゴールを明確化した単元構成のポイントをまとめました。

1時間の授業をつくるポイント

13ページ

○1時間の授業を構成する際の参考となる流れを、「Warming-up」「Review」「Activity」「Reflection」の4つの展開に分け、整理しまとめました。

「聞く力」指導のポイント

14ページ

○「聞く力」を育む指導のポイントを、全国学力・学習状況調査の問題から分析・整理し、日常の授業改善に生かすポイントとしてまとめました。

「読む力」指導のポイント

15ページ

○「読む力」を育む指導のポイントを、全国学力・学習状況調査の問題から分析・整理し、日常の授業改善に生かすポイントとしてまとめました。

「書く力」指導のポイント

16ページ

○「書く力」を育む指導のポイントを、全国学力・学習状況調査の問題から分析・整理し、日常の授業改善に生かすポイントとしてまとめました。

「話す力」指導のポイント

17ページ

○「話す力」を育む指導のポイントを、全国学力・学習状況調査の問題から整理し、日常の授業改善に生かすポイントとしてまとめました。

【あさひかわ】英語学習プリント

18ページ

○今年度の調査の課題となった設問に対応した問題を踏まえた、本市の生徒のための学習プリントを8枚作成しました。

課題の改善策【読むこと】

中学校英語

課題の見られた問題の出題の趣旨及び概要

- 5 (2) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
- 8 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
- ・ある状況を描写する英語を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する
- ・食料問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く

学習指導要領における領域・内容

言語活動 ウ 読むこと
 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。
 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

旭川の子どもたちは、ここでつまずいた！

- ① 語彙力が低く、熟語等の意味を理解できていない。
 - ② 読んだことを基にして書くという技能統合ができていない。
- 〈不足している力〉
- ・基本的な単語・熟語等の知識や、前置詞句による後置修飾を含む主語 (a man with a bag) を正確に読み取る力。
 - ・英文の内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりする力。

＜単元の指導イメージ＞ 第2学年「Lesson 1 Spring Vacation in Okinawa」(8時間版)

【単元のねらい】 過去のことについて書かれた英文を読んで、内容を理解することができる。

CAN-DO リストに基づいた単元目標設定

＜主な学習内容＞

〔指導のポイント〕



【単元の振り返り】(パフォーマンステスト)

過去のことについて書かれた英文を読み、自分の意見を書く。

Warming-up

英語授業の雰囲気作り

- Lesson1 Part4 に関する映像や写真を活用したオーラル・イントロダクション

例) Where is this? What are they doing?

Many people in Okinawa moved to other countries. (T or F) etc...



Review

既習事項を用いた復習

- ワークシートを使って「tell + 人 + ものごと」の復習をする。
- ワークシートを使って「give + 人 + もの」の復習をする。
- フラッシュカードを使って新出語句の復習をする。



指導のポイント

- ・ 継続的に行うことでやり取りに慣れさせる。
- ・ 生徒が題材に興味をもてるような工夫をする。
- ・ 生徒に共通して見られる誤りや注意点などをフィードバックする。

Today's Goal

“Why did people in Okinawa move to other countries?”

沖縄の人たちは、何故、海外へ移住したのか理解し、説明しよう。

板書で本時のゴールを共有

Activity

めあてを達成するための活動

対話的な学び

深い学び

①教師による発問。

※英文の内容に関する質問を通して、何を読み取るべきかのヒントを与える。

- 例) 1. Did Aya go to Okinawa last month?
2. What did a man tell Aya?
3. What did a man give Aya?
4. Where did many people Okinawa move around 1900?
5. What do people in Okinawa have every five years?



②上記の発問に対する答えを本文から読み取る。

※読み取ることが目的なので、答えを書かせることはしない。

③ペアで発問に対する答えをシェアする。

例) Yes, she did.



④教師による発問。

What do you think?

- 例) 1. Why did people in Okinawa move to other countries?
2. What is “a sense of unity”?



例) I think they needed money. So they went to ...
I think “a sense of unity means ...”

【学びを深める】

- ③本分から読みとった内容を自分の言葉で話す場面を設定する。
- ④英文の意味を理解するだけでなく、書かれている中身について深く考えさせる。
読んだことを基に考えさせて、書かせる活動を設定してもよい。

Reflection

振り返りによるめあての達成や自分の学びの確認、次の授業への意欲喚起



- ワークシートで写真やキーワードをもとに本文を要約する。(穴埋め等)
- ワークシートで自己評価を行う。

指導のポイント

Activity を通して学んだことを、最後に要約して書くという活動につなげる。

＜本時の指導のポイント＞

- ・ 予測を促す発問や、映像や写真を活用したイントロダクションで題材に対する興味を高める。
- ・ 教科書本文を扱う学習においては、本文の続きのスク립トを作成させたり、英文に直接書かれていない問いに答えさせたりする活動を通して内容理解を深める。
- ・ 4技能を統合した表現活動として、読んだことを基に考えさせる場面を作ることや、読んだ内容について自分の言葉で要約する活動を行う。

課題の改善策【書くこと】1

中学校英語

課題の見られた問題の出題の趣旨及び概要

9 (2) ②一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる

- ・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く

学習指導要領における領域・内容

- 言語活動 エ 書くこと
 (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。
 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

旭川の子どもたちは、ここでつまずいた！

- ①会話の流れの理解が不十分で、時制（現在時制，過去時制）や肯定文，疑問文であるかの判断ができていないなど，基本的な語や文法事項を正しく理解できていない。
- ②My family and I という主語を受けて，話し手の状況を判断してより適切な主語を判断することができていない。

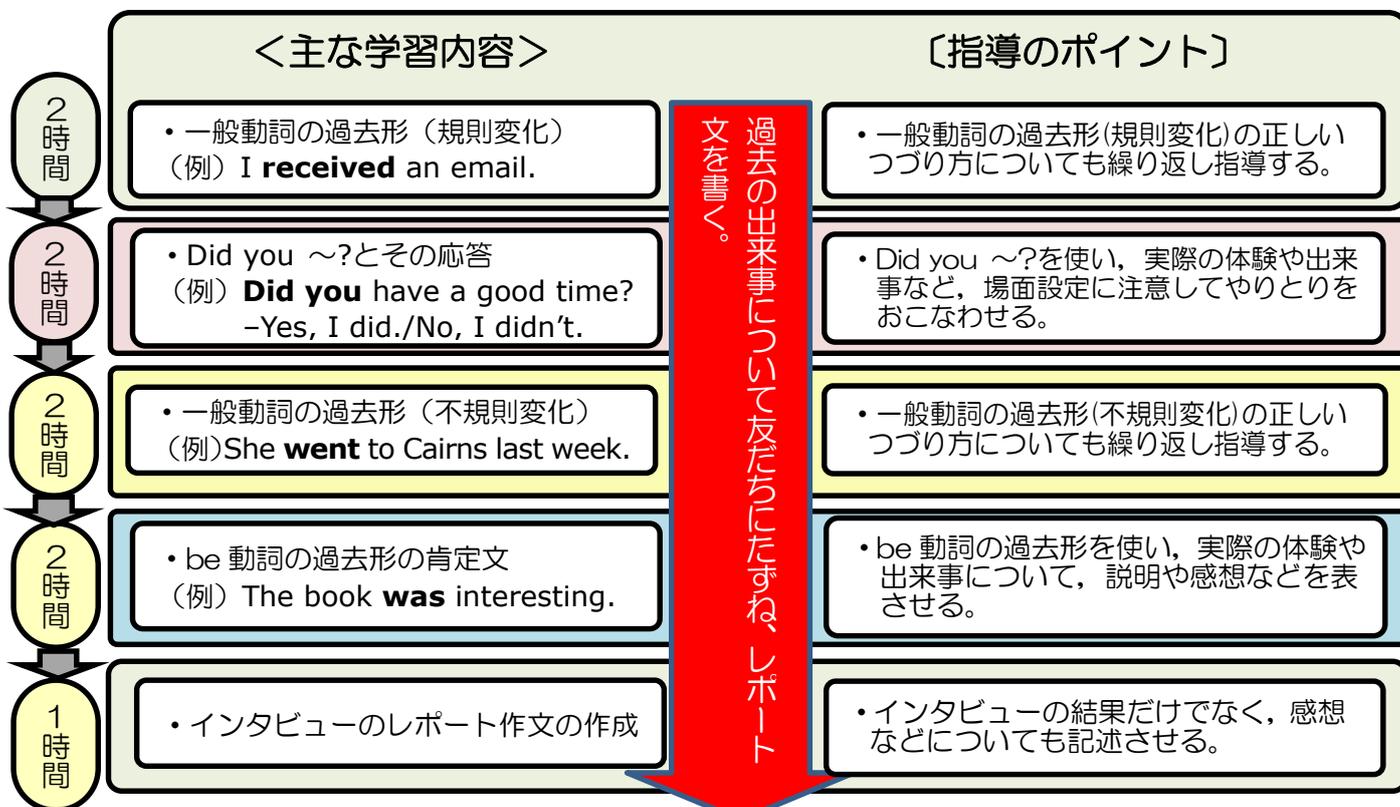
〈不足している力〉

- ・場面や状況から文の形式（肯定文，疑問文等）や時制（現在時制，過去時制）を適切に判断する力。

＜単元の指導イメージ＞ 第1学年「Lesson 9 オーストラリアの観光地から」(9時間扱い)

【単元のねらい】過去のことを説明したり，情報のやりとりをすることができる。

CAN-DO リストに基づいた単元目標設定



【単元の振り返り】（パフォーマンステスト）

前の日の出来事について，説明や感想を交えた日記を書く。

授業展開例

(3 / 9 時間目)

本時の目標

○過去のことについて情報を交換し、書いてまとめることができる。

Warming-up

英語授業の雰囲気作り

- 授業の始まりの挨拶～教師と生徒のやりとだけでなく、生徒同士でもやりとを行う。
- 日時や天気などの確認～天気だけを教師が質問し全体で確認後、曜日や日付、時間などについては生徒同士で行う。

Review

既習事項を用いた復習

- ペアやグループで質問応答をし合う。

A : What subject do you like? B : I like English.

A : Can you speak English? B : Yes, I can. ← 答えに応じた即興の質問

- ペアで一般動詞の過去形(規則変化)の発音とつづりを確認する。

リストから昨日自分がしたことを選んで、相手に伝える。

[watch TV / listen to music / play ○○ / study ○○ / use a smartphone]

A : Yesterday, I watched TV and studied English.

B : You watched TV and studied English, right?

A : That's right. →過去形を使って自分の答えや相手の答えを書く。



指導のポイント

- ・教師と生徒、生徒と生徒による対話モデルを十分に示す。
- ・意味のある質問応答を、できるだけ続けさせるよう促す。
- ・誤りの多いつづりについては、特に注意して確認させる。

対話的な学び 深い学び

【学びを深める】

- ②及び③～相手に質問する目的を具体的に設定し、聞きたい質問や書きたい作文の内容を工夫させる。
- ④～完成した英文を互いに読み合い、誤りに気付かせたり、修正を加えさせたりして、内容を深める。

Today's Goal

友だちに昨日したことを聞いて共通点を見付け、書いてまとめよう。

板書で本時のゴールを共有

Activity

めあてを達成するための活動

- ①Review でのペアのやりとりを新出事項導入に用いる。

A : I studied English yesterday. Did you study English, too?

B : Yes, I did. / No, I didn't.

- ②1問1答から即興の質問を加えた対話へ

A : I studied English yesterday. Did you study English, too?

B : Yes, I did.

A : Do you like English? ← 質問の答えに応じた即興の質問

B : Yes, I do.

A : Me, too.



- ③クラスの友だちと情報を交換し合い、結果を書いてまとめる。

Ken studied English yesterday. He likes English. I like English, too.

- ④書いた英文をグループで読み合う。



指導のポイント

- ・英文を読み合う際、内容だけでなく、適切な主語や動詞の形が使われているかについても着目させる。

Reflection

振り返りによるめあての達成や自分の学びの確認、次の授業への意欲喚起

- 友だちからのアドバイスや、自身の気づきに基づく英文の修正を行う。
- 振り返りシートを用いて、自己評価を行う。

指導のポイント

- ・次の学習への意欲につなげる自己評価となるようにする。

<本時の指導のポイント>

- ・場面や状況から文の形式や動詞の形(時制)を適切に判断し、正確に書くことができるようにする。
- ・一文のみで動詞の形を変えさせるのではなく、文章の流れからふさわしい文の形式や主語、時制を考えさせる。
- ・確実な定着を図るために、一定程度の分量の練習問題に取り組みさせる。

課題の改善策【書くこと】2

学習指導要領における領域・内容

言語活動 エ 書くこと
 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

課題の見られた問題の出題の趣旨及び概要

- 10 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
- ・学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く。

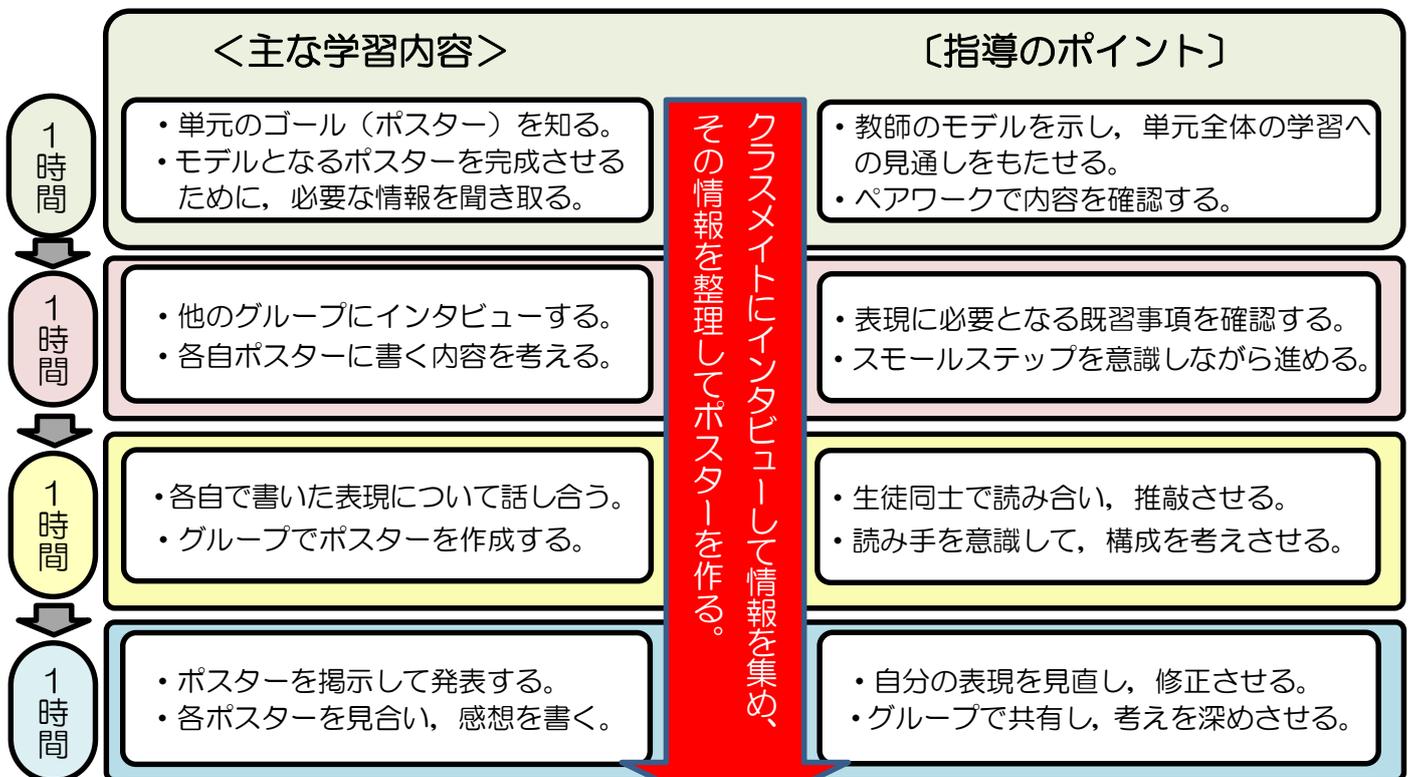
旭川の子どもたちは、ここでつまづいた！

- ①自分の考えを示すために必要な表現が身に付いていない。
 - ②問題文の指示文が理解できていないため、テーマに沿ったまとまりのある文章を書くことができていない。
- 〈不足している力〉
- ・語や文法事項等を正しく理解して文を書く力。
 - ・テーマについて自分の考えや気持ちを整理して説明する力。

＜単元の指導イメージ＞ 第2学年「Project 3」（4時間扱い）

【単元のねらい】 情報を集め、その情報を整理して発表できる。

CAN-DO リストに基づいた単元目標設定



【単元の振り返り】（パフォーマンステスト）

どのポスターが分かりやすかったか、理由を含めて自分の意見を書く。

本時の目標

○集めた情報について、感想を含めてまとまりのある文章を書くことができる。

Warming-up

英語授業の雰囲気作り

- 授業の始まりの挨拶～教師と生徒の挨拶後、ペアやグループなど生徒同士でも行う。
- 日時等の確認～天気だけを教師が質問し全体で確認後、曜日や日付、時間などについては生徒同士で行う。

Review

既習事項を用いた復習

- 比較級・最上級を使ったペアでの対話
- ワークシートを使った比較級・最上級の復習
- 接続詞を使った文が表す内容の確認

What sports do you like the best?



指導のポイント

- ・まずは教師とのやりとりの中で、既習事項を想起させる。
- ・本時の活動がスムーズに行えるよう、つなぐ意識をさせる。
- ・生徒に共通して見られる誤りや注意点などをフィードバックする。

Today's Goal

ポスター作りのためにインタビューをして、その情報について自分の感想を書こう！

板書で本時のゴールを共有

Activity

めあてを達成するための活動

対話的な学び 深い学び

- ①グループごと質問事項を決める。
※あるテーマについて教師が生徒に質問し、全体で確認することで、質問づくりのヒントにする。

例) T: What is your favorite school lunch?
S: Fried bread. Ramen. Curry and rice. Ramen. Spaghetti. Curry and rice. Fried bread.
→Which do you like the best, fried bread, ramen, spaghetti, or curry and rice?



- ②各グループで決めた質問を使って、インタビューを行う。
※2グループずつ交代で、質問して回る。

What's your favorite school lunch?



ラーメンが一番多いね。

- ③グループごとに調査結果をまとめる。
- ④ポスターにのせる英文を各自で書く。
※どのグループにも必要となる表現について確認する。

My family often eat sushi. It is the most popular food in my family.



Ramen is the most popular school lunch. We are surprised because ...



【学びを深める】

- ①各グループの良い点を全体に投げかけることで、生徒の思考をゆさぶる。
- ④単なる事実の羅列にとどまることなく、自分の考えや感想を交えて、英文を書かせる。

Reflection

振り返りによるめあての達成や自分の学びの確認、次の授業への意欲喚起

- 作成した英文をグループ内で交流する。
- ワークシートで自己評価を行う。

I didn't know more than 50% classmates like ramen. I think...



指導のポイント

グループで協力しながらポスターを作成するという次時の活動につなげる。

＜本時の指導のポイント＞

- ・活動に必要な既習事項について、随時確認する。
- ・生徒の実態や活動の様子に応じて、スモールステップを意識する。
- ・グループやペアでの活動を取り入れながらも、個人で考える場を保障する。

課題の改善策【話すこと】発表

中学校英語

課題の見られた問題の出題の趣旨及び概要

③ 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

- ・海外のテレビ局の要望に応じて、自分の将来の夢、またはやってみいたいこと等を話す

学習指導要領における領域・内容

言語活動 イ話すこと

(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。

全国的に見られる課題

「話すこと」に関する調査の結果については、「参考値」として公表されている全国の平均正答数及び平均正答率から全国的な課題を把握し、整理しました。

- ① 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができない。
- ② 基本的な語や文法知識を活用して、自分の考えに根拠や情報等を付け加えて聞き手に伝わるよう話すことができない。

〈身に付けさせたい力〉

- ・相手を意識して、伝わるようにまとまりのある内容に整理をして話す力。
- ・自分の考えに根拠や情報等を付け加えて話すための基本的な語や文法の知識。

〈単元の指導イメージ〉 第1学年「Lesson5 中華街に行こう」(9時間扱い)

【単元のねらい】身近な人やものについて、簡単な英語で内容を整理しながら、話すことができる。

CAN-DO リストに基づいた単元目標設定

〈主な学習内容〉

〔指導のポイント〕

2時間

- ・3人称単数現在形(肯定文)
- 例) He **likes** ~.
- She **plays** ~.

- ・まとまりのある内容を話す思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動を意図的に行う。
- ・相手意識を大切に、自分が聞き手であったら何を聞きたいかを考えさせる。

2時間

- ・3人称単数現在形(疑問文)
- 例) **Does** he ~?
- Yes, he **does**./ No, he **doesn't**.

- ・情報を伝える、受け取る必然性や目的を明確にして、伝え合う際に相手意識を持たせる。
- ・答える時に答えだけでなく、情報を加えて話し続けさせる(プラスワン)。

2時間

- ・3人称単数現在形(否定文)
- 例) He **doesn't** play ~.
- She **doesn't** like ~.

- ・全体の文章構成を考えたり、内容を構成面から振り返らせたりするようにする。
- ・短い準備の時間の中で整理して伝えさせる。

3時間

- ・命令文(肯定文・否定文)
- 例) **Look** ~./ **Don't** ~.
- ・Let's ~.の文

- ・目的、場面、状況に応じて、情報を加えて話し続けさせる。

身近な人やものについて絵や写真を用いながら紹介する。

【単元の振り返り】(パフォーマンステスト)

新入生に校内の先生を紹介する。

授業展開例

(2/9 時間目)

本時の目標

○人物や物について説明し、相手に伝えることができる。

Warming-up

英語授業の雰囲気作り

- 授業の始まりの挨拶～教師と生徒の挨拶後、ペアやグループなど生徒同士でも行う。
- 日時等の確認～天気だけを教師が質問し全体で確認後、曜日や日付、時間などについては生徒同士で行う。

Review

既習事項を用いた復習

- 即興的な Speaking 活動：好きなこと、持っているものなどペアで話をする。

例) I like dogs. I have a dog. His name is Lucky.
I want his house. How about your pet?



指導のポイント

- ・コミュニケーションの目的や場面、状況を意識した具体的な課題を設定し、まとまりのある内容を話すなど思考力、判断力、表現力等を育てる言語活動を意図的に行う。

Today's Goal

写真や絵を見て、人物や物について伝えよう。

板書で本時のゴールを共有

Activity

めあてを達成するための活動

対話的な学び 深い学び

- ①新しい言語材料と用法を理解させる活動
教師が自分の友だちについて写真を用いながら紹介する。ここでできるだけ多くの「動詞」を使用し、3人称単数現在形について意識をさせる。
- ②新出事項を習得する活動（パターンフラクティス）
ICT活用し、画面にテンポよく映してたくさん練習をさせる。
例) I like sushi. She likes sushi. Makoto likes sushi.
Ken and Makoto like sushi.
- ③単元のゴールで行う活動を達成するために必要な活動（ピクチャーディスクリビング）
写真や絵を見てヒントを出し相手に答えさせる。準備時間は10秒で、伝える時間は20秒～30秒とする。慣れてくると準備時間を短くしてもよい。
例) 絵を見て10秒でヒントを考える。



① He is blue. He has a red nose. He has a special pocket.

③ Yes, he is.

② Is he Doraemon?



【学びを深める】

- ・ペアで活動することで、相手の表現を参考にできるようにする。
- ・自分だったらどんなヒントをもらえば答えがわかるかを考えて表現させる。
- ・合間に確認をすることで自己の表現の参考にさせる。

指導のポイント

- ・相手意識を大切にし、自分が聞き手であったら何を聞きたいかを考えさせたり、理解を確認しながら話させることも有効である。
- ・短い準備の時間の中でそれらを整理して伝えることを目指す。

Reflection

振り返りによるめあての達成や自分の学びの確認、次の授業への意欲喚起



- 課題に対するまとめ（他の人やものについて説明する表現の確認）
- 振り返りシートによる自己評価

<本時の指導のポイント>

- ・Activityの最初には、ICTの活用等で言語材料と用法を理解する活動を位置付け、情報を付け加えて相手に伝えるための語や文法知識の定着を図る。その際、生徒の身近にあるものや身近にいる人物について取り扱う。
- ・ピクチャーディスクリビングでは、相手を意識して瞬時に伝える内容を考えて英文を話すことができるように、①短時間で準備をし、②相手に伝わりやすいヒントを考えて話すようにさせる。
- ・ピクチャーディスクリビングでは、段階を踏むことで表現できることが増え、「相手に伝わった」という達成感を味わえるようにする。どんなヒントを出せば伝わるかということも考えさせる。

課題の改善策【話すこと】やり取り

中学校英語

課題の見られた問題の出題の趣旨及び概要

2 聞いて把握した内容について、やり取りすることができる

- ・ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて、会話が続いていくように、即興で質問をする

学習指導要領における領域・内容

言語活動 イ 話すこと

- (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。

全国的に見られる課題

「話すこと」に関する調査の結果については、「参考値」として公表されている全国の平均正答数及び平均正答率から全国的な課題を把握し、整理しました。

- ① 情報や考えを即座にやり取りすることができない。
- ② 相手の発話の内容を踏まえて、それに関連した質問や意見を述べ、会話を継続することができない。

〈不足している力〉

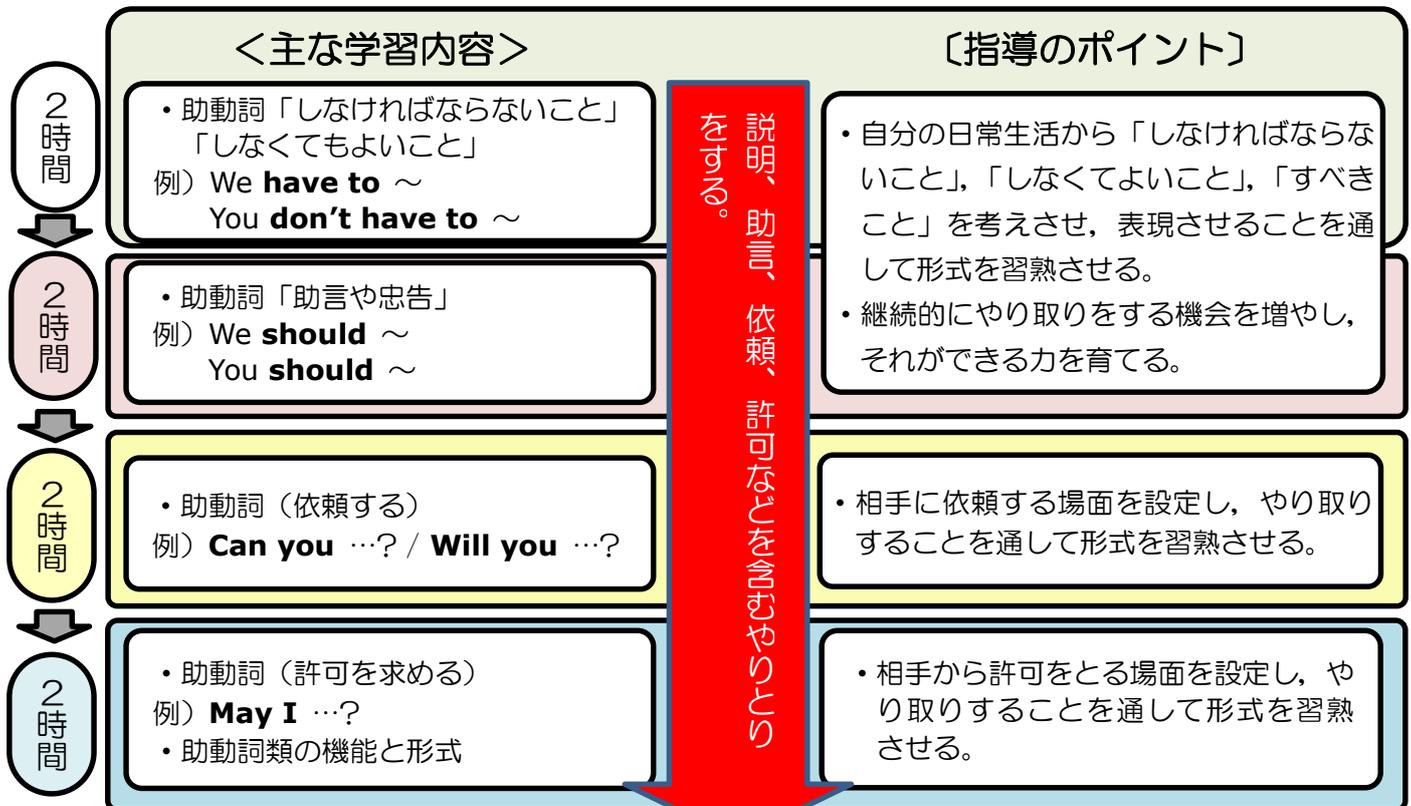
- ・対話を聞いて、内容を即座に把握する力。
- ・即興で応じたり質問したりする力。



第2学年「Lesson 6 Internship」(8時間扱い)

【単元のねらい】しなければならぬことを説明したり、助言や依頼をしたり、許可を求めたりできる

CAN-DO リストに基づいた単元目標設定



【単元の振り返り】(パフォーマンステスト)

設定したトピック(例「学校や家で自分がしなければならぬこと」など)について、教師と生徒がやり取りする。

授業展開例

(5/8時間目)

本時の目標

- Will you...? / Can you...? を用いて相手に依頼できる。
- 依頼に対して適切に応答できる。

Warming-up

英語授業の雰囲気作り

- 授業の始まりの挨拶～教師と生徒の挨拶後、ペアやグループなど生徒同士でも行う。
- 日時等の確認～天気だけを教師が質問し全体で確認後、曜日や日付、時間などについては生徒同士で行う。

Review

既習事項を用いた復習

○ 既習事項を用いた帯活動：One-minute conversation(1分間対話)

Topic: What will you do this weekend?

- I will show you a model, so find out what he will do this weekend.
- Make pairs and decide who talks first.



例) I will watch volleyball game on TV this weekend.
How about you?

指導のポイント

- 帯活動を通して、生徒に既習事項を思い出させる。
- 即興のやり取りをする活動を重ねることで、対話を継続する力を身に付けさせる。
- 頻出表現を会話に含めさせることで、すぐに使える表現を増やしていく。

Today's Goal

Will you ~? / Can you ~? を使って同じ種類のカードを集め、相手に依頼する表現を理解しよう。

板書で本時のゴールを共有

Activity

めあてを達成するための活動

対話的な学び

深い学び

① インフォメーション・ギャップのある言語活動：

Will you...? / Can you...? を使って、同じ種類の果物を集める
(異なる果物の絵が描いてある、2～3種類のカードを使用)

- Today, we are going to play a game. I will give you a card. There are some fruits on it.
- First, please choose one fruit you like. You have to collect that fruit as many as possible. You have 4 minutes.



Will you give me an apple?



Sure. I have an apple card.
Here, you are!
(I'm sorry, I don't have any.)

② Lesson6-3 教科書の対話文を基に「会話を継続・発展させる方法」を考えさせる活動

Mei: I want to be a medical researcher.
 Bob: Oh, like Noguchi Hideyo?
 Mei: Who's that?
 Bob: He's the man on the 1,000 yen bill.
 Mei: Will you tell me about him?
 Bob: Sure, Noguchi tried to find the causes of ... (略)
 Mei: Sounds great! Can you take me there?
 Bob: 「ア」

Look at these underlined parts.
They are important point.
Why? Let's talk in pairs.



Look at Blank [ア]. What is Bob saying?
You are Bob. Do you have any ideas?

【学びを深める】

- 教師と生徒の間で口頭でのやり取りをする中で、ターゲットを思い出せるよう促す。
- 活動中に生徒の様子を観察し、必要に応じて練習を追加したり、誤りの訂正や新たな表現を追加したりする。
- 教科書の対話文を活用し、気付かせたい表現に下線を引いたり、空欄にしたりして生徒が考える場面を設定する。

Reflection

振り返りによるめあての達成や自分の学びの確認、次の授業への意欲喚起

- 課題に対するまとめ (相手に依頼する表現の確認)
- 振り返りシートによる自己評価



指導のポイント

- 生徒の反応をもとに、ほめる、誤りを訂正するなど、フィードバックを与え、次時の復習につなげる。

<本時の指導のポイント>

- 帯活動を通して、既習事項を活用した対話の場面を設定し、生徒同士、考えを伝え合わせるようにする。
- インフォメーション・ギャップを活用し、必然性があり、生徒が主体的に対話に取り組める活動とする。
- 意味や内容、場面を理解した教科書の対話文を扱い、会話を継続、発展させる活動に取り組ませる。

単元構成のポイント



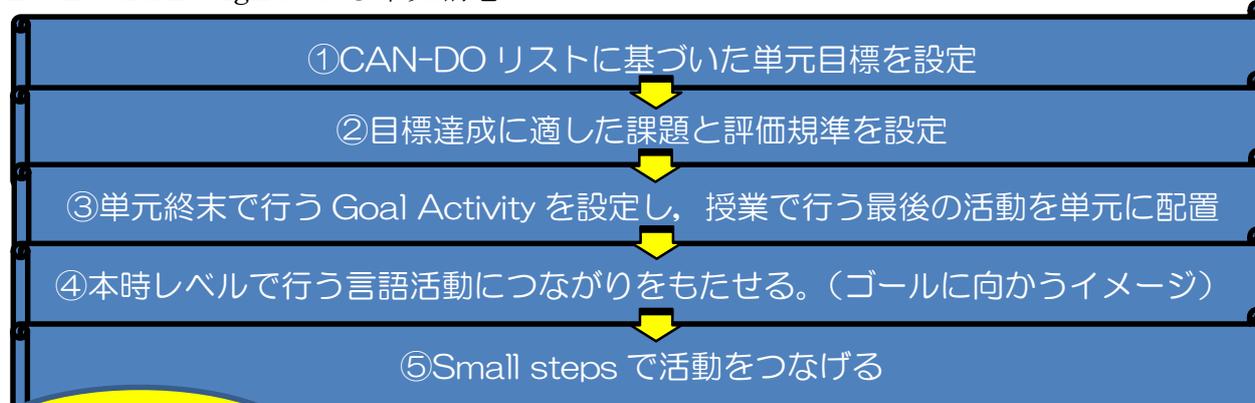
中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編P. 82～84
3 指導計画の作成と内容の取扱い （1）指導計画の作成上の配慮事項

ア 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、具体的な課題等を設定し、生徒が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。



- 単元の構成に当たっては、「ゴールの明確化」が大切となります。
単元で目指す生徒の具体的な姿や生徒に身に付けさせたい力を、CAN-DO リストに基づいて明確にします。
- 単元のゴールから Backward Design して1時間ごとの目標を定め、各1単位時間の活動を組み立てながら単元を構成します。

<Backward Design による単元構想>



単元のゴール
は何か？

単元計画を作成する際の留意点

- ①CAN-DO（英語を用いて何ができるのか）の面からゴールを設定していますか。
- ②語彙や文法事項等を覚えさせることが主たる目標になっていないですか。
- ③単元末までに行えるようになっていくことを意識して作成していますか。
（生徒のどのような姿をイメージしていますか）



1時間の授業をつくるポイント

- 1コマ（50分）の基本的な流れは、【例】（挨拶→Warming-up・Review〔復習〕）→（導入[今日のめあての確認など]→練習等→中心となる活動→振り返り）→（挨拶）
- 設定した「単元のゴール」から Backward Design して定めた1時間ごとの目標を「めあて（今日のゴール）」とし、各時間の活動を組み立てる。

Warming-up

英語の授業の雰囲気作り

- 歌やチャンツ等→授業前に既習事項を含む歌やチャンツを流し、歌って復習し、英語の授業の雰囲気を作る。
- 授業の始まりの挨拶→教師と生徒の挨拶の後、生徒がペアの生徒や周りの生徒と互いに挨拶を行う。
- 日時等の確認→当番の生徒が教師役となって質問し他の生徒が答えたり、ペアで質問し合ったりする。

Review

帯活動や既習事項を用いた復習

- 即興的な speaking 活動
 - 既習事項を用いて、与えられたトピックについて即興で会話したり、ピクチャーディスクリビングなどを行う。1回目の後に不明な点を確認したり辞書を引いたりし、ペアを替えて2回目を実施すると、自分の言いたいことを少しでも多く、またより上手に発話でき、意欲や理解の向上につながる。また、**会話の内容を書き活動を取り入れると技能統合を意識した活動にもなる。**
- 単語や基本文等の練習→ペアで、学習する単語や基本文を発話し、確認する。書く活動などにも活用する。
- めあての確認

Activity

めあてを達成するための活動

- 新しい言語材料と出会い、用法を理解する活動
 - Focus on form などのように、習得したい文法事項や構文を用いて活動することで用法を理解する。
- 新出事項を習得する活動
 - 習得においては、ワークシートやICTなどを用いてパターンプラクティスを工夫。
- 単元のゴールを行う活動を達成するために必要な活動
 - 新出事項を用いた活動では、インタビュー活動やインフォメーションギャップなどを活用し、単元のゴールの表現活動を構成する内容を少しずつ行うことで生徒に新出事項に慣れさせるなど、scaffolding（足場）を意識した活動を行う。
 - 教科書本文を扱う学習においては、習得の際は本文の続きのスキriptを作成したり、長文を扱う際はリーディングや英文から疑問文を考えたり、英文に直接書かれていない問いに答えたりするなど活動を通して内容理解を深められるようにする。
- 課題意識をもたせ、その解決に向かう活動
 - めあてを達成するために、どのような工夫をすればよいか等課題意識をもって活動に取り組めるようにする。

Reflection

振り返りによるめあての達成や自分の学びの確認、次の授業への意欲喚起

- Sharing→作成した英作文等の交流を通して自分の英文をモニタリングしたり、友達の英文からの気づきを促す。
- 確かめる問題→習得については、その日の学習内容を用いた問いに挑戦することを通して自分の学習を確かめる。
- 課題に対するまとめを行う。
- 振り返りシート等の活用による自己評価
 - 単元プランを生徒に配付した場合は、単元のゴールを意識して本時の達成や次の時間への目標をもつことができる。1時間ごとのシートでも、単元のゴールと本時のゴールを明記しておくと同じように意識できる。

「聞く力」指導のポイント

求められる
(目指す)力

相手からの依頼・提案などを聞き、
適切に応答する力

全国学力・学習状況調査中学校 英語調査 「聞くこと」問題から

聞き取ったことを基にして自分の考えを書く「技能統合型」の問題

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。
メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

(音声スクリプト)

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.



来日予定の留学生からの「日本の学校の部活動に参加してみたいので、何かアドバイスをしてほしい」という音声メッセージを聞いて応答する問題。

話し手の依頼に正対していることが正答の鍵となり、

①具体的な部活動のアドバイスになっている

②理解できる英語で伝えたい内容が書かれている

ことが正答の必須の条件となっている。



授業改善のヒント

聞くだけにとどめず、把握した内容について適切に応じることができるよう、実際に聞いて応じる活動を積み重ね、体験的に身に付けさせる。

聞き取った条件に従って書く・話す活動を授業の中に取り入れる

単に「テスト対策」として行う活動ではなく、生徒の「聞く力」を高め、即興的に「書く力」や「話す力」を育てることを目的に行う活動です。

- 全国調査の問題と同じように、教師が場面や状況を話し、生徒は条件に合わせて英語で書いたり話したりします。この場合も、発話や作文の正確性を評価するのではなく、場面状況にあったものであるかを重視します。

【場面・状況の例】

- (1) A student from Australia will come to our city in December. Please tell her what she can enjoy in Hokkaido in December.
- (2) To make our school more wonderful place, what can we do?
- (3) An American student will come to your house and stay three weeks. This is the first visit to Japan for him. Tell him what he can do or what he should not do in Japanese life.

授業のはじめの10分間などに、計画的、定期的、継続的に取り入れることで、コミュニケーション能力の育成につながります。



※話し手がどのような人で、何を求めているのか、この場面においてどのような応答がふさわしいのか考えさせ、自分の考えや意見を表現させることが重要です。

「読む力」指導のポイント

求められる
(目指す)力

書かれた内容について、
自分の考えを適切に示す力

全国学力・学習状況調査中学校 英語調査 「読むこと」問題から

読んだことを基にして自分の考えを書く「技能統合型」の問題

8

英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000 of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really mottainai! We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?



「世界にはたくさんの飢えに苦しむ人々がいる一方で、日本では毎年大量の食料が無駄になっている。この問題に対して私たちは何ができるだろうか」という書き手の問いに、正対していることが正答の鍵となり、

- ①具体的な解決策になっている
- ②理解できる英語で伝えたい内容が書かれている

ことが必須の条件となっている。



授業改善のヒント

読むだけにとどめずに、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べるができるよう、要点を把握した上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えを話したり、書いたりするなどして、統合的・批判的に読む力を育てることが重要。

領域間の統合的な言語活動の工夫

教科書本文を使った活動例

Water is very important in our lives. It's used in many ways. For example, our food is cooked with water, and our clothes are washed in it. But many people around the world don't have clean water. How can we solve this problem?

(One World English Course2 Lesson8-1)

①教科書等に取り上げられている環境問題などに関する説明文を読み、書き手の主張を数文でまとめる。

②話題になっている問題に対して、自分ができることなどについて、ペアやグループで尋ね合ったり、伝え合ったりする。

I think we can...



③自分の使った英語を振り返り、表現の正確さを高める。

④ペアやグループで伝え合ったことを、最終的な自分の意見として簡潔に書いてまとめる。

To solve this problem....



「書く力」指導のポイント

求められる
(目指す)力

文の形式や動詞の形を適切に判断し、正確に書く力

全国学力・学習状況調査中学校 英語調査 「書くこと」問題から

9 (2)

次の①, ②について, 例を参考にしながら, 必要があれば () 内の語を適切な形に変えたり, 不足している語を補ったりなどして, それぞれの会話が成り立つように英語を完成させなさい。

①<朝の通学路で>

A:I watched a baseball game yesterday. It was so exciting.

B:Oh! (like) baseball?

A:Of course. I love playing and watching baseball.

②<休み明けに教室で>

A:Was your vacation good?

B:Yes. My family and I went to Australia.

(stay) there for two weeks.

A:Wow! Wonderful.



- ①会話の流れから時制を判断し, 正しい表現を用いて一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を書くことが鍵となる。
- ②会話の流れから過去時制であることを判断して肯定文を書くこと, 更に, My family and I という主語を受けて, 話し手の状況を判断してより適切な主語を判断することが鍵となる。



授業改善のヒント

コミュニケーションにおいて時制や人称は大事な事柄であり, 文脈から適切な文の形式や時制を判断させることが大切。

場面や状況から文の形式や動詞の形(時制)を適切に判断し, 正確に書く活動

例えば, 一般動詞の疑問文や疑問詞の where を用いた疑問文の定着を図る場合, 例のように会話の流れの中でどういう内容を表現すればよいかを考えて文を作らせると, 1文であっても「考える力」が付きます。



例 1)

Ken: You speak English well.

.....every day ?

Yuri: Yes.it's my favorite subject.

例 2)

Shin:I play soccer every Saturday. Will you come and see us?

Rin:

Shin: We play at Hanasaki Park.

指導に当たっては, 一文のみを示して空欄の動詞の形を変えさせるのではなく, 対話や文章の流れからふさわしい文の形式や時制を考えさせる学習を繰り返し指導し, 定着を図ることが大切です。



※並び替え, 穴埋め, 和訳など, 文脈を考えなくてもできるドリル的な学習に終始していませんか?

「話す力」指導のポイント

求められる
(目指す)力

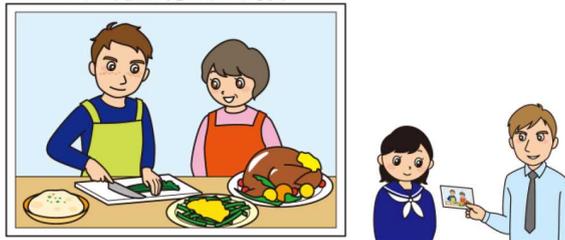
与えられたテーマに即して、
会話をつなげる力

全国学力・学習状況調査中学校 英語調査 「話すこと」問題から

2

あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえ、会話が続いていくように英語で応じてください。

アラン先生が見せている写真



(音声スクリプト)

A: Look at this picture of my family. This is my favorite picture.

Y: Nice! Who is she?

A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom.
He can cook very well.

Y: I see. What kind of work does your mother do?

A: She is a teacher. Do you have any other questions about them?

与えられた場面・状況から判断して「アラン先生に尋ねられたことに適切に応答できているか」という問題。

アラン先生の問いを聞いて、母や兄について質問することが正答の鍵となり、

①やりとりを踏まえた質問をしている

②正しく伝わる英語で話している

ことが必須の条件となっている。



授業改善のヒント

会話文を聞いて内容把握、状況判断をし、会話をつなげる課題に対して、文脈（この場合は会話の内容）に沿って話すなど、「知識・理解」を基にした活用力が求められます。

例えば、授業でのペアワークや、グループワークで教科書の内容（会話文、説明文等）を他の生徒に即興で（または概要のメモ等を利用して）口頭で伝える練習などが有効です。この場合、正確さよりも「伝える」ことを意識させることが大切です。

次に、その内容に対してペアやグループのメンバーが、口頭でプラスワンのコメントを付け加えたり、質問したりする練習が有効であると考えられます。発達の段階に応じて、文章量の増減や、メモの使用頻度等を調整し、即興的なやり取りに近付けていくことが大切です。また、伝えられたことや伝えようとしてもうまく伝わらなかったこと（概要の把握が不十分、基本的な文構造の理解が不十分、語彙不足など）を書き出すことで振り返り、生徒のモチベーションを維持しながら成果と課題を意識させ、次時につなげることも有効です。



【あさひかわ】英語学習プリント

本市の生徒が苦手としている複数の技能を統合した問題、例えば「読んだことを基にして自分の意見を書く」など、課題の見られた内容について学習プリントを作成しました。該当する単元において活用することを想定した「タイプA」と、単元にこだわらず任意の時間で活用できる「タイプB」の2種類の問題があります。

いずれの問題も、計画的、定期的、継続的に取り組むことで、技能が統合的に発達し、コミュニケーションの育成にもつながります。

旭川市HPからダウンロードして、必要なプリントのみを印刷することができますので、当該単元の学習後、長期休業中や学期末・年度末など様々な機会において、生徒の実態に合わせて御活用ください。

中学校2年生

【旭川市版】英語学習プリント

英語 読む力を試す②



タイプA

年 組 (名前) _____

1 Lesson1 -Part4 の英文を読み、次の質問に対して、あなたの考えを英語で書いてみよう。

1. Why did people in Okinawa move to other counties?

What do you think?

2. What is "a sense of unity"? What do you think?

該当学年を示しています。

本プリントは教科書 ONE WORLD English Course2 Lesson1 -Part4 で活用することができます。

中学校1年生

【旭川市版】英語学習プリント

英語 書く力を試す②



タイプB

1年 組 (名前) _____

2 表に示された、ある男性に関する現在の情報を用いて、この男性について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

① 出身	② 好きなスポーツ	③ 日本語を話せるか 話せる (○) 話せない (×)
Canada	baseball	×



① [答え]

② [答え]

③ [答え]

本プリントは教科書の単元にこだわらず、任意の時間で活用することができます。